

ぎ かい の 柱

NO.71 令和3年11月1日号

9月定例会などの内容をお伝えします。



CONTENTS

【特集】みんなの声	P2~3
9月定例会	P4~5
常任委員会審査報告	P6~7
決算特別委員会	P8
臨時会・全員協議会	P9
一般質問	P10~12
議会の動き	P13
訃報・常任委員の異動	P14

特集 みんなの声

果樹農家

×

市議会

特集 みんなの声

果樹農家

×

市議会

おいしい林檎のために

令和3年9月17日、北秋田市杉山田にある伊東農園さんを訪れ、経営者である伊東まりかさんに取材をしました。
果樹農家の苦悩や海外輸出についてなど、様々なお話を聞きながら、広大なリンゴ畑を見学させていただきました。

リンゴ園を引き継ぐ

三代目 伊東まりかさん



伊東まりかさん

議員 果樹農家をいつからやられているかと、経営面積や経営規模などの現状を教えてください。

伊東 この農園は祖父の代に始まり、父が園地を広めて、その後、父が亡くなり私が引き継ぎました。面積的には2町歩ほどですね。ほとんどが「ふじ」という品種です。

必要不可欠な人の力

議員 作業は、すべてお一人でやっているのですか。

伊東 作業に関しては一人でできるものは一人ですが、忙しいときは、近所の方3〜4人の力を借りています。また、収穫の11月頃になると1日20人くらい、多い時には40人に手伝ってもらうこともあります。そうして1日平均500箱のリンゴを収穫して、大体5日から7日くらいで全ての収穫を終わります。
議員 果樹に限らず農家という人手不足が課題ということを聞きますが、この先も周囲の方々のお力を借りる形で人手不足を補っていくお考えなんですね。

伊東 この面積の果樹園を維持していくには、やはり人の力というのには必要です。20人を集めるにも「1日だけでいいから」というようなお願いの仕方、なんとか来てもらっています。昨年は、地域おこし協力隊の方や秋田大学に通う学生も手伝いに来てくれました。

議員 機械化や先端技術の導入についてはどのような状況ですか。

伊東 機械に頼るのは、薬剤散布や草刈り、木を切るためにチェーンソーを使うくらいです。冬の剪定、花粉付け、摘果作業、色を付けるための薬つみ、収穫作業、選別作業など、木やリンゴの様子を見ながら作業をします。



作業車で園内を移動する伊東さん

伊東 一つ一つ手作業で手間がかり、正直大変ですが、その分、愛情もわきます。(笑)

思いがけない海外輸出

議員 海外にも出荷されているということですが、現在も出荷されているのでしょうか。

伊東 自分のリンゴを海外へ、というのは本当に考えてもいなかったことですが、ある商談会に参加した際、*Alibaba(※アリババグループ・中国の大手インターネット企業)の社長さんが、私の名刺を持ち帰ってくださいって。それから3年後くらいですか…

急に「リンゴが不足しているの
で欲しい」とお電話をいただき
ました。しかし、連絡をいただ
いたのは12月の20日。すでに贈
答用のリンゴは全て出荷済みで、
小玉しか残っていなかったのだ
ですが、海外への輸出は小玉の方
が適しているということでお引
き受けし、5キロ箱で1000
箱を出荷しました。

議員 1000箱！すごいですね。

伊東 海外への輸出は本当に大変
でした。暮れの船便に乗せる約
束だったので、クリスマスあた
りは、ほとんど徹夜でしたね。
その時にオリジナルのダンポー
ルを作ってくれた業者さんや、
資材を運んでくれた農協の担当
者の方、暮れの忙しい中、寒い
作業場で箱づめを頑張ってくれ
た近所の方々、本当にいろんな



多くのリンゴの木に囲まれながらの取材

人のお世話になりましたね。大
きな組合や農園さんであれば安
定して輸出できるのでしようが、

私たちのような農園では
本当に不安が大きくて。
あの年は運良く成功しま
したが、やはり安定的に
続けるのは大変なので、
今は国内で販路を広げて
やっていこうと、全ての
リンゴを売り切れるよう
に毎年頑張っています。

熊もデザートにリンゴ？

議員 鳥獣の被害対策も大事です
よね。なにか対策していますか。
伊東 作業後に爆竹を鳴らすとか
電気柵などですね。しかし農家
ができることは限られているの
で、獣の場合は猟友会に相談し
ています。

議員 熊も出ますか。

伊東 一週間くらい前も親子の熊
がいて猟友会にお願いしました。
栗などを食べているようですが、
最後はリンゴのデザートで締め
冬眠に入るんです(笑)。最近
は猪に畑を荒らされている近所
の方もいらつしやいますので、
いずれこちらにも来るのかなと
警戒しています。

行政への要望

議員 北秋田市に望むことは。

伊東 鳥獣被害が、今後ますます
増えてくると思います。夜中ま
で見回りもできないので、猟友
会に頼らなければいけないこと
が多くあります。猟友会の方々
無くして果樹農家の存続は無い
と思っています。猟友会の方々
への支援をお願いします。

伊東 また、北秋田市の果樹農家
はとても頑張っていますが、産
地協議会が無いことで、継続が
難しい方もいます。最近はず
し動きがあると聞いていますが、
様々な支援を得られる状況にす
るため、設置に向けてより前進
していただきたいです。そして、
後継者不足対策として、農家や
果樹農家と移住者のマッチング
等にも力を入れてほしいです。

議員 最後に、リンゴ農家をやっ
ていて良かったことを聞かせて
ください。

伊東 美味しいリンゴをつくりた
いという思いを通して、多くの
人たちとの出会いがあったこと
多くの人たちに支えられ、助け
ていただき、今こうして頑張っ
ていることが私の財産です。

～取材を終えて～

「果樹農家」の苦悩の中にも、
多くの人たちの支えがあり、その
支えによって『美味しい美味しい
リンゴが出来ているんだな』と感
じました。改めて、後継者不足や
鳥獣対策など様々な課題があると
いうことが聞けたので、市議会でも
共有し、反映できるように取り組
んでいきたいと思っています。



起立採決（認定第1号 令和2年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について）

令和3年 9月定例会

令和3年度一般会計予算

8億4555万5千円を追加



9月定例会の主な議事

- 北秋田市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の制定について
- 北秋田市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市障害児通園（デイサービス）施設条例の一部を改正する条例の制定について
- 北秋田市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- 令和3年度一般会計補正予算
- 令和3年度各特別会計補正予算
- 令和2年度各会計決算の認定
- 北秋田市過疎地域持続的発展計画の策定について（20会計）

令和3年北秋田市議会9月定例会は、9月9日から10月1日までの23日間の会期で行われました。

今定例会に提出された条例案4件、予算案6件、単行議案1件、令和2年度各会計決算の認定20件、陳情1件及び最終日に追加提案された人事案1件、発議案5件については、審議の結果、陳情を除く37件それぞれが、可決、認定されました。

また、陳情1件については、賛成少数で不採択となりました。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

高橋 進氏（綴子）
亀谷 隆道氏（上杉）

主な補正予算	予算額
ふるさと寄付金事業	265,727千円
子育てサポート事業（わんぱあく設計委託）	4,469千円
G I G Aスクールサポーター配置促進事業	1,044千円
マイタウンバス運行費補助金	1,035千円
クウンス森吉設備更新工事	15,367千円
公園管理費（ドリームワールドすべり台補修工事）	3,994千円
伊勢堂岱遺跡誘導看板設置業務委託	1,617千円
財政調整基金	357,149千円

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	採決結果	新創会					みらい				緑風・公明			日本共産党議員団			無党派			
		佐藤重光	虻川敬	杉渕一弘	佐藤文信	永井昌孝	佐藤光子	大森光信	中嶋洋子	黒澤芳彦	堀部壽	小笠原寿	武田浩人	関口正則	板垣淳	三浦倫美	久留嶋範子	山田博康	福岡由巳	長崎克彦
【令和3年9月定例会／令和3年10月1日採決】																				
認定第1号 令和2年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	▼	○	-	○	○	▼	○	●	●	●	○	●	○
認定第18号 令和2年度北秋田市病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	▼	○	-	○	○	▼	○	●	●	●	○	●	○
陳情第41号 沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を辺野古新基地建設のための埋め立てに使用しないことを国に求める意見書提出に関する陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	▼	●	-	●	●	▼	●	○	○	○	●	○	○

※議長は、過半数で議決すべき場合「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、採決には加わりません。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を辺野古新基地建設のための埋め立てに使用しないことを国に求める意見書提出に関する陳情書	にかほ市象潟町二の丸15 沖縄に応答する会@あきた 代表 兵藤 知子	不採択	-

◆議員発議（最終日、追加提案）

豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出
《提案理由》

特別豪雪地帯における

▽基幹道路の整備（豪雪法第14条）

▽公立小中学校等の施設等の整備（豪雪法第15条）

を促進するため、今年度で期限となる、この2つの特例措置の期限延長を国に要望するもの。

【採決結果】全会一致で可決

賛成・反対討論

▼認定第1号

反対討論 三浦 倫美 議員

「外出支援サービス」料金値上げ等福祉を削る姿勢がみられ、更にコロナ禍において、高額な事業費のハローキティキャラクター事業が継続されたことは認められない。

賛成討論 虻川 敬 議員

コロナ禍にもかかわらず実質収支額は7億1429万円の黒字である。実質単年度収支は4年連続赤字ではあるものの赤字幅は少なくなっており健全な決算内容と評価できる。

▼認定第18号

反対討論 久留嶋範子 議員

財政状況は依然として赤字が続いており、健全な行財政の確保・運営が必須と監査委員も指摘。一般会計からの負担金の削減につながる取り組みが一層求められるべき。

賛成討論 虻川 敬 議員

医師充足率も年々改善され令和3年度4月時点138.1%であり厚生連並びに当局の努力が認められる。決算内容では資金不足もなく適正な運営がなされていると判断する。

▼陳情第41号

反対討論 板垣 淳 議員

戦争で死んだ人の遺骨が眠る土を基地建設の埋め立てに使うのは人間のやることではない。人間の心を失っている。人道的立場からこの陳情は採択すべき。

反対討論 福岡 由巳 議員

現在も遺骨を発掘している地域内の土砂採取は、国のために犠牲となった人々の骨や血のしみ込んだ土砂を基地に使うものであり、戦没者への冒瀆で、あってはならない。

[委員長]大森光信 [副委員長]武田浩人
山田博康／三浦倫美／小笠原 寿／佐藤光子／佐藤重光

総務文教常任委員会

ふるさと納税 大きく伸びる

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件、単行議案1件、陳情1件の計5件でした。

令和3年度一般会計補正予算について、委員から「ふるさと寄附額が大きく伸びている要因には、どんなことがあるか」との質疑があり、当局からは「中間業者のサイトの見せ方が非常に良い。また、コメの定期便が好評で伸びてきている。お礼状などソフト面も丁寧に対応しながらライオンナップを増やすことが伸びしろと考えている」との答弁がありました。

また、委員から「中間業者について、市内の業者ではなく、市外の業者になっている理由はなにか」との質疑に、当局からは「昨年の11月から参入している中間業者は、きめ細やかな対応とシステムで、効率的かつ見せ方も上手である。中間業者を決定するにあたり、プロポーザルを行い決定している。次年度もプロポ

ザルを行い業者を決定したいと考えているので、条件の合う市内業者にも応募していただければと考える」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情、「沖縄戦戦没者の遺骨等が混入した土砂を辺野古新基地建設のための埋め立てに使用しないことを国に求める意見書提出に関する陳情書」については、審査の結果、賛成少数で不採択にすべきものと決しました。

(委員長職務代行 佐藤重光)



申込みが急増中の「お米の定期便」

[委員長]佐藤文信 [副委員長]中嶋洋子
杉渕一弘／福岡由巳／久留嶋範子／関口正則／黒澤芳彦

市民福祉常任委員会

わんぱあく設計委託費を計上

当委員会に付託された案件は、条例案2件、予算案4件の計6件でした。

障害児通園(デイサービス)施設条例の一部を改正する条例の制定について、委員から「施設が移転するにあたり、送迎はどのようになるのか」との質疑があり、当局からは「現在の糠沢地区から高村岱地区に移転することで、比内支援学校をはじめ、各小学校も近くなるため、合川地区、森吉地区への拡充も考えている」との答弁がありました。

令和3年度北秋田市一般会計補正予算について、委員から「子育てサポートハウスに関する設計委託について、今後のスケジュールは」との質疑があり、当局からは「場所は現在の保健センターの右側、面積は299㎡以内を予定。子育てサポートハウスわんぱあく整備検討委員会と打合せを行い、設計に入り来年度の当初予算には概算工事費を計上し、令和4年度内の完成を

目指している」との答弁がありました。また、委員から「わんぱあくの利用者へのアンケートは十分に活用されているのか」との質疑があり、当局からは「場所は近い所が良いが大半の意見であった。できる範囲で理想の建物に近づきたい」との答弁がありました。

経営分析も入れた 毎年の定例会を実施

北秋田市病院事業会計補正予算について、委員から「精算金について、外来患者がかなり減少しているが、1億2千万円ほど精算された。厚生連と話し合いがなされているのか」との質疑があり、当局からは「指定管理料の設定や精算規定も含め、経営分析も入れた三者で、毎年定例の運営連絡協議会を開催している」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、全ての議案を全会一致で可決すべきものと決しました。

(委員長 佐藤文信)

3つの常任委員会

[委員長]堀部 壽 [副委員長]虻川 敬
永井昌孝/長崎克彦/板垣 淳

産業建設常任委員会

市営牧場の放牧頭数 上限は

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案2件でした。

令和3年度一般会計補正予算の審査では、農林課の鷹巣牧場関連予算について、委員から「今年度は牛の受け入れが少なく、これまで鷹巣牧場と高津森牧場を使って放牧していたものを、今年度は鷹巣牧場だけの使用にしたとのことだが、2つの牧場を使用した場合、最大何頭まで受け入れが可能か」との質疑があり、当局からは「直近のピークで令和元年度に60頭の受入れがあり、草地の状況等を見ても、それが上限とされている。また、畜産農家件数は、減少傾向である」との答弁がありました。

源泉ポンプ 復旧時間掛かりすぎ

商工観光課のクウインス森吉の源泉ポンプの工事については、委員から「ポンプに不具合が生じてから、全復旧す

るまで半年も掛かるわけだが、時間が掛かりすぎではないか。今回が初めての故障ではないし、これまでの経験が生かされていないのでは」との質疑があり、当局からは「源泉の泉質が強く、これまでも3年でポンプを更新してきたが、今回は1年半と短期間で故障したことから、しっかりとした原因調査が必要と判断し、410万円ほどの予備費を使い、調査をしたことで時間が掛かった。3年前に使用していたポンプの再利用や同等品での復旧等も検討したが、できなかつた。どうかご理解をいただきたい」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、予算案2件は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。市営住宅条例の一部を改正する条例の制定については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 堀部 壽)

閉会中の所管事務調査 委員長報告 (抜粋)

総務文教常任委員会

8月3日に『北秋田市地域公共交通利便増進実施計画について』の調査を実施しました。

計画の基本目標として、当局から「まちづくりを支える新たな交通網の形成、誰でも・いつでも安心して利用できる公共交通、地域に応じた公平・高品質な交通サービスの提供、市民協働による持続可能な交通の仕組みづくりを掲げている」などと説明がありました。

委員からは「利便性などが悪くなる地域があるのでは」との質疑があり、担当者からは「地域によっては、運行本数を増やす検討も必要と思う」と答弁がありました。

また、デマンド交通エリアと市街地循環バスの視察も行いました。

市民福祉常任委員会

7月27日に『マイナンバーカードについて』と『認知症対策について』調査を実施しました。

それぞれ担当者から説明を受けたあと質疑応答を行い、マイナンバーカードの交付状況等については、委員から「カード交付推進のあり方は」との質疑があり、担当者は「自治会をはじめ、会社関係にも日時を調整しながら、基本の10人以上にこだわらず相談に応じていきたい」と答弁がありました。

また、現在行っている認知症対策については「認知症にならない対策は」との質疑に「介護予防事業や医療健康化と連携した健康づくりの事業を推進していく」などの答弁がありました。

産業建設常任委員会

8月10日に『市営住宅について』調査を実施しました。

はじめに現在の市営住宅の入居率や今後の建替え計画、今年度で前期事業を終える南鷹巣団地の整備状況について担当者から説明を受けました。このあとその説明に対し、委員からは地元産秋田杉の活用や建替え計画の詳細、入居率を上げるための施策などの質疑が出され、担当者から詳細な情報を得たり、その答弁に対して意見をするなどし、事業に関わる情報と認識の共有を図りました。

また、現在建設中の南鷹巣団地の現地視察を行い、間取りや耐震化などの説明を受けながら実際に建物内部を確認しました。

決算特別委員会

今定例会には、令和2年度各会計決算の認定20件が提案され、審議をしました。

9月9日の本会議において決算特別委員会が設置され、議長と議会議選出監査委員を除く17人の議員が委員に選任されました。

昨年度までは、一般会計又は特別・企業会計のどちらかの決算特別委員会に選任され、審査をしていましたが、今年度は特別委員会を一本化しました。

また、同日に行われた決算特別委員会では、委員長と副委員長を互選したほか、審査は各常任委員会を分科会と位置づけて行うことに決定しました。

「委員長」 佐藤光子

「副委員長」 杉渕一弘

第3回 決算特別委員会

▽各分科会委員長の報告（抜粋）

審査での主な質疑と答弁

総務文教分科会

「佐藤重光 委員長代行」

Q ふるさと納税で指定された寄付金の使い道で多いものは。

A 4つの項目に分けているが、約99%の方は指定が無いため、市で4項目に振り分けている。

Q 税の滞納者の実態調査は、どのように行っているか。

A 徴税吏員が、それぞれの担当を持ち調査し、内部でも繰り返し調査をしている。

市民福祉分科会

「佐藤文信 委員長」

Q 市民病院負担金が7億円以上の高止まりになっている。精算金も非常に多額になっているため、基本協定なども改正すべき。

A 医業収益で賄えるところまで至っておらず、ここ数年で指定管理料も減額してきている中で、さらなる経営努力を求めている。精算の規定に関しては、今までどおり決算の確定をもって精算していただく。

産業建設分科会

「堀部 壽 委員長」

Q 農林課所管のコロナ対策事業の評価と効果は。

A 事業評価としては、有事の中

で、様々な支援を考え、それを実行することでき、それなりの効果があったと認識している。なかなか進まなかったスマート農業もこれを機に進んだことはプラスに感じている。

本会議 最終日

▽決算特別委員長の報告

「佐藤光子 委員長」

当委員会に付託されました事件は20件でした。

認定第1号令和2年度北秋田市一般会計歳入歳出決算の認定について、「実質単年度収支が4年連続赤字で、経常収支比率も3年続けて高止まりとなっており、政策の転換が求められる」、「市民病院については、減価償却費免除を中

止し、負担金を引き下げるべき」との反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第2号から認定第17号までの特別会計16件は、すべて全会一致で認定すべきものと決しました。

認定第18号令和2年度北秋田市病院事業会計決算の認定については、「市民病院の患者数が毎年度減少しており、圏域外流出を抑えるためにも患者数が増える医療体制を求める」との反対討論がありました。採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決しました。

認定第19号、認定第20号の2件は、全会一致で認定すべきものと決しました。

監査委員の意見書

本定例会に「令和2年度決算に関する監査委員の意見書」が提出されました。主な内容は次のとおり。

◇一般会計について

前年度比で歳入が45億6355万1千円、歳出が44億8974万4千円増となり、実質収支は29.8%増の7億1429万7千円の黒字となっている。

なお、歳入の主な特徴点は「ふるさと寄附金」が、前年度比で1721%増の4億9844万2千円となっている。

◇特別会計について

下水道事業、農業集落排水事業、特定地域生活排水処理事業が公営企業会計へ移行し、前年度から3会計少なくなった。全特別会計の歳入総額は105億4195万3千円で前年度比21.7%の減、歳出総額も99億8301万1千円で22.2%の減となっている。

◇普通会計における財政状況

数値が高いほど経常的に歳入される一般財源に余裕がないことを表す「経常収支比率」が95.4%と高止まりしている。

また、「実質公債費比率」は、平成30年度と令和元年度が同率の10.9%であったが10%となった。この比率が18%以上で地方債発行の許可団体となるため、留意する必要がある。

第3回臨時会

令和3年度 一般会計予算
2億5923万6000円を追加



第3回臨時会が8月27日に開かれ、上程された予算案1件を審議した結果、全会一致で可決しました。

上程された予算案は、一般会計の補正で、内容は昨年度も2度実施したスーパープレミアム付き応援チケット事業です。これにより令和3年度一般会計は、2億5923万6000円が追加され、総額は23億5923万6000円となりました。



北秋田市スーパープレミアム付き応援チケット事業

当事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域経済の縮小や経営状況の悪化が予想されることから、市内消費を刺激し、市内店舗の事業継続と消費活性化を図るものです。昨年度も夏と冬に実施しており、3回目となる今回は、商品券3万3600セット、2億5200万円分の販売を予定しており、1世帯の購入上限は4セットまでとしています。

主な質疑

議案説明のあとに行われた、主な質疑と答弁は次のとおり。

Q 第1弾、第2弾に比べ、予算規模が少ない。地域経済は以前より悪い状況。その点をどう考えているか。

A 第1弾、第2弾は、コロナの臨時交付金を充てることができたが、今回はすべて一般財源。なお、持ち出しは8400万円。

Q 申込みが多い場合は、抽選とのことだが、購入上限を下げるなどし、より多くの市民に使ってもらえるようにすべきでは。

A 昨年の購入率は、夏が全世帯の45%、冬が51%で、今回が8400世帯、60%を想定。申込みの状況によっては、ご指摘の上限の調整も含め検討する。

Q 効果のある事業であり、市民からも好評。今後も予算を追加して実施する考えはあるか。

A 今回の事業とコロナの状況を見ながら検討する。

Q 子育て世帯や非課税世帯への商品券などとデザインが似ている取扱店から戸惑いの声がある。

A 区別できるようにデザインを設定する。



新たに3項目を追加

当局からは「今回の新計画案は、基本的に旧計画を踏襲しつつ、社会状況の変化を踏まえ、新法に基づき項目の追加と変更を加えた」とした上で、新たに「移住・定住・地域間交流の促進、人材育成」「地域における情報化」「再生可能エネルギーの利用の促進」の3項目を新たに追加したことを説明しました。

このあと、議員との質疑応答を行い、新たに作成した計画案への理解を求めました。

第3回全員協議会が7月16日に開かれ、北秋田市過疎地域持続的発展計画の策定について協議をしました。

◇過疎地域持続的発展計画とは

過疎地域の指定を受けると、地域の振興や自立促進などの過疎対策事業に対し、過疎対策事業債などの財政上の特別措置が受けられようになりますが、その特別措置を受ける条件として、過疎計画の策定が必要とされています。

このたびの計画は、これまでの過疎計画が3月末で期限を迎えたことから、令和3年4月に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づく、新たな新過疎計画として策定するもので、計画期間は令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5か年となっています。

第3回

市議会
全員協議会

北秋田市過疎地域持続的発展計画の策定

活かそう市民の声 市政を問う!

一般質問

一般質問は、9月13日・14日の2日間で
行われ、7名の議員が登壇しました。

なお、QRコードを読み込むとそれぞれの
議員の一般質問の動画がご覧になれます。



福岡 由巳 議員 (P10)

◆北秋田市地域公共交通について



永井 昌孝 議員 (P12)

◆中小企業支援について



三浦 倫美 議員 (P11)

◆公共交通について

久留嶋 範子 議員 (P11)

- ◆子どもの新型コロナウイルス感
染拡大について
- ◆平和教育について
- ◆難聴者への支援について



山田 博康 議員 (P12)

- ◆観光施策について
- ◆空家対策について
- ◆コロナ感染症対応について



佐藤 光子 議員 (P12)

- ◆北秋田市フィルムコミッション
について
- ◆こども福祉について
- ◆新型コロナウイルス感染症対策
について



板垣 淳 議員 (P11)

- ◆国民健康保険制度について
- ◆コロナ対策について
- ◆農業について
- ◆小中学校統合計画について

一般質問とは？

議員が市長や教育長など、市当局に対して広く
市政についての報告や説明を求めるもので、定例
会ごとに行われます。

A 反問する。何をもち

Q 答弁からこの点の当
時の施策については実
行されていない。公約
違反であり、計画を見
直すべきと考える。

A どういう地域計画を
立てていくかというこ
とで計画を再編してい
るところである。

Q 質問に答えていない。
「地域をあげり出して
優先順位をつける」の
優先順位はつけられな
かったということか。

A 決して、この地域だ
けをどうするかではな
く、全体のなかで再編
の方向性を出している。

Q 質問に答えていない。
「地域をあげり出して
優先順位をつける」の
優先順位はつけられな
かったということか。

A 決して、この地域だ
けをどうするかではな
く、全体のなかで再編
の方向性を出している。



地域公共交通の
優先順位は

福岡 由巳
(無党派)

優先順位は



合川地区の路線バス再編計画

Q 何回も申し上げてい
るように「地域をあげ
り出し優先順位をつけ
る」に対しての答弁が
ない。この公約は私も
期待をしていたが外れ
た。それで実施計画を
見直すべきことを求め
ている。

A 「対話するなどして
地域をあげり出しをし
ていない」との話であ
るが活性化協議会など
で議論してまとめたの
が今回の計画である。

Q 何回も申し上げてい
るように「地域をあげ
り出し優先順位をつけ
る」に対しての答弁が
ない。この公約は私も
期待をしていたが外れ
た。それで実施計画を
見直すべきことを求め
ている。

A 「対話するなどして
地域をあげり出しをし
ていない」との話であ
るが活性化協議会など
で議論してまとめたの
が今回の計画である。



住民要望に寄り添った
公共交通の拡充を

三浦 倫美
(日本共産党議員団)

Q 合川地区再編計画、住民要望の把握を。

A 北秋田市地域公共交通利便増進実施計画を進めるにあたり、実態調査を実施し、再編の方針を定め、これまで導入してきたデマンド交通地域の検証も含め、全域対象のアンケート調査等の実施により意見を伺う機会を設けるほか、再編地域での住民説明会を開催し、合意形成を図っていく。

通弱者への対応についても既存制度の拡充も含め、支援策を検討していく。

Q 多様な目的に自由に使えるタクシー券等の柔軟な支援策を検討していく考えは。

A 基本的に公共交通の路線でカバーできるところは既存のものをどのように使うか、その中でもどのような支援ができるかを第一に考えていくが、議員が提案していただいたようにその路線を使えない方への支援についても参考にさせていただきます。

用者の利便性向上と資源となる車両、人材及び財政等の状況を十分に考慮した上で決定し、交



公共交通の再編
住民意見の反映を



子どものワクチン
接種状況は万全か

久留嶋 範子
(日本共産党議員団)

Q 全国的な感染爆発のなか、子どもの感染が急増している。対策は万全か。12歳から18歳のワクチン接種状況と完了の見込みは。

A 特設会場での集団接種は10月3日で終了予定だが、受けることができなかつた人には、9月と10月に市民病院小児科と米内沢診療所で接種日程を追加し、195人から予約あり。

Q 新学期が始まり、学校行事や部活などへの影響、変更について。

A 修学旅行の行き先や実施時期、学校祭、学習発表会の日程を変更した学校がある。部活も、留意事項に基づき、感染対策を講じながら取り組んでいる。

Q 学校教育のなかで、子たちに戦争の悲惨さ、平和の大切さをどう知

らせていくのか。

A 学年の発達段階に応じて、戦争の悲惨さや生命の尊さなどを指導している。「きらり★きたあきた」の中の項目で当時の様子を取り上げております。



教読本での戦争のくらし

Q 難聴者への支援、補聴器購入の補助制度を。特定健診項目に聴力検査の導入の考えは。

A 身体障害者手帳を取得された方への助成と県の助成事業がある。今後は難聴者への支援に向け、調査研究を進め、検討していきたい。



国保税を安くして

板垣 淳
(日本共産党議員団)

Q 子どもをたくさん産んでねと言いながら、おぎやーと生まれたら「おまえの家の税金を高くするぞ」というのが国保税の均等割。せめて18才以下はゼロ円に。

A 国に要望する。

Q コロナ経済対策として低所得者にも配慮したスーパープレミアム商品券を。

A 必要に応じて検討したい。

Q 米価下落に対し、市としてなんらかの支援策を。

A 難しい。

Q 阿仁地区の小中学校3校をひとつに統合し「義務教育学校」にする計画だが、住民はそれがどんな学校なのか知らない。

A 7月に説明会を開催した。



改修して統合校にする阿仁合小

Q 三澤前教育長は議会で「義務教育学校にはしない」と言った。これは市教委として正式な表明。それを变えるのなら議会にも説明が必要だ。

A 当時は義務教育学校が制度化されて間がな

く、情報が少なかつたので、そういう判断をしたと思う。

Q 教育の専門家からもマイナス面が指摘されている。

A 市教委としては義務教育学校の教育効果は高いと判断している。



中小企業支援
若者の働く場所

永井 昌孝
(新創会)

Q 中小企業支援、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う補助事業の件数の実績は。事業効果と現状の認識は。

A 飲食店事業継続事業は要件を満たした78件、店舗改修事業は135件、新しい生活様式事業は88件、WEB会議整備事業は80件を交付決定している。

飲食店事業継続事業については、事業の継続と従業員の雇用の継続を目的としているが、飲食店は大幅に減少しており、経済・産業活動の縮小が顕著であると認識している。

Q 今後も独自の店舗改修支援事業は行うか。

A コロナ禍における緊急的、臨時的な措置であり、恒久的な政策としては公益性の観点からなじまないと考える。

Q 空き店舗の現状は。

A 店舗併用住宅も多く入居するに当たり大規模な改修等が必要。起業者が活用しやすい制度について検討を行っている。



地域商店への支援とは

Q 当市の中小企業に係る予算について

A 商工費7億1千万円で全体の3.3%、そのうち商工振興費、企業誘致対策費が2億2千7百万で32%。産業構造の変化や人口減少等の地域課題に対応し行政サービス向上と地域の維持発展が図れる予算となるよう努める。



コロナ被害の実態
把握に担当は現場へ

山田 博康
(無党派)

Q コロナで厳しい経営環境下の宿泊業者との情報交換が3年以上もないが、施策の展開に事業者の声を聴く機会が必要ではないか。

A 今後は商工会や観光物産協会等の会合に参加して意見を聴く。

Q コロナの影響で大変な状況の宿泊業者支援として、県民に限定した県民割のほかに他市町村で実施している独自の支援はできないか。

A 感染の拡大が続いており、人流の抑制のため厳しい状況にある。
Q 後継者不在により、今後まだ十分活用できる空家が増加していくことは避けられない。移住・定住を促進する施策として、有効活用が可能な情報発信に積極的な取り組みが必要ではないか。



無観客で実施した芸能大会

Q コロナで厳しい経営環境下の宿泊業者との情報交換が3年以上もないが、施策の展開に事業者の声を聴く機会が必要ではないか。

A 今後は商工会や観光物産協会等の会合に参加して意見を聴く。

Q コロナの影響で大変な状況の宿泊業者支援として、県民に限定した県民割のほかに他市町村で実施している独自の支援はできないか。

A 感染の拡大が続いており、人流の抑制のため厳しい状況にある。
Q 後継者不在により、今後まだ十分活用できる空家が増加していくことは避けられない。移住・定住を促進する施策として、有効活用が可能な情報発信に積極的な取り組みが必要ではないか。



子ども課の設置を！

佐藤 光子
(みらい)

Q フィルムコミッション事業の実施について、数年前にも「検討する」と答弁されているが、その後の状況は。

A これから検討する。

Q 放課後等デイサービスについて、今後充実（増設・送迎拡大等）していく計画や必要性はどのようにお考えか。

A もろびこども園の移設により送迎の範囲も拡大していけると考えている。



もろびこども園(旧鷹巣中央児童館)

Q 障がいの有無に関わらず、大切な期間である胎児期から18歳まで

長期的に一人一人を管理・計画し、支援する必要があると考えます。そのための情報共有、窓口の一元化による安心の提供とスムーズな対応、関係機関と連携した合理的配慮の形成に向けた議論、取り組みをしていくためにも、子ども課の設置をすべ

A 前向きに検討する。
Q コロナ禍だけでなく災害時や様々な非常時に学びを止めないために、オンライン授業を進めて行くべきでは。

A 現在準備に向けて動かしだしている。
Q コロナ禍の飲食店支援、住民支援、交通業者支援に加え、過疎地域の食事配達支援としての出前補助事業について実施してはどうか。

A 研究させていただく。

議会の動き

<7月10日~10月15日>

7月	12日	・ 広報特別委員会
	16日	・ 第3回全員協議会 ・ 広報特別委員会
	20日	・ 小阿仁川水系対策委員会 総会
	27日	・ 市民福祉常任委員会 (所管事務調査) ・ 伊勢堂岱遺跡世界遺産登録 パブリックビューイング
	3日	・ 総務文教常任委員会 (所管事務調査)
8月	4日	・ 秋田県後期高齢者医療広 域連合議会臨時会
	5日	・ 北秋田市上小阿仁村生活 環境施設組合議会定例会
	10日	・ 産業建設常任委員会 (所管事務調査)
	20日	・ 議会運営委員会
	26日	・ 小阿仁川水系流況調査
9月	27日	・ 第3回臨時会
	30日	・ 議会運営委員会
	1日	・ 議会運営委員会 ・ 商工会活動を支援する議 員連盟研修会
	9日	・ 9月定例会(初日) ・ 決算特別委員会(全体会) ・ 広報特別委員会
	13日	・ 本会議 一般質問①
	14日	・ 本会議 一般質問② ・ 議会運営委員会
	15日	・ 総務文教常任委員会 ・ 市民福祉常任委員会 ・ 産業建設常任委員会
	17日	・ 広報特別委員会 (特集記事取材)
	21日	・ 決算特別委員会(分科会)
	22日	・ 決算特別委員会(分科会)
10月	29日	・ 決算特別委員会(全体会)
	1日	・ 9月定例会(最終日) ・ 議会運営委員会
	13日	・ 広報特別委員会

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。ようお待ちしております。

次の定例会は12月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷ 市民福祉 (森吉庁舎)
- ▷ 産業建設 (合川庁舎)
- ▷ 総務文教 (阿仁庁舎)



本会議の生中継や録画映像が スマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

パソコン

(北秋田市ホームページ)

操作① メニューをクリック

操作② 北秋田市議会をクリック

操作③ 市議会中継をクリック

(議会中継のページ)

操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継がご覧になれます)

スマートフォン・タブレット

① QRコード読み取りアプリを起動して下のQRコードを読み取る

生中継・録画映像
配信先QRコード



画面が切り替わりましたら、再生ボタンを押してください。

今年の議会報告会は中止します。

新型コロナウイルス感染状況などを総合的に判断し、昨年に続き中止することとしました。

松橋 隆 議員が逝去



北秋田市議会議員の松橋隆氏が、8月24日に永眠されました。78歳でした。

松橋氏は、平成11年の阿仁町議会議員選挙で初当選され、合併後は北秋田市議会議員として、21年9か月にわたり町政と市政の発展に多大なる貢献をされました。

この間、教育民生常任委員、市民福祉常任委員、産業建設常任委員と、広い分野にわたり自身が持つ豊富な知識と経験を遺憾なく発揮され、また、教育民生常任委員長、決算特別委員長、議会改革特別委員会副委員長などの要職を歴任されました。



北秋田市議会では、9月定例会初日の9月9日、松橋隆氏の「追悼の儀」を行いました。

議場には、松橋氏の遺影が安置され、はじめに全員で遺影に黙とうをささげ、このあと黒澤議長が弔詞を読み上げたほか、中嶋洋子議員、津谷市長がそれぞれ追悼の言葉を述べました。

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈り申し上げます。

大森 光信 議員が逝去



北秋田市議会議員の大森光信氏が、10月20日に永眠されました。51歳でした。

大森氏は、平成22年の北秋田市議会議員選挙で初当選され、11年6か月にわたり市政の発展に多大なる貢献をされました。

この間、産業建設常任委員、広報公聴特別委員、議会運営委員、総務文教常任委員と、広い分野にわたり自身が持つ豊富な知識と類まれな行動力を遺憾なく発揮され、また、総務文教常任委員長、決算特別委員長、産業建設常任委員会副委員長、広報公聴特別委員会副委員長などの要職を歴任されました。

会派の異動

松橋隆議員の死去により、会派「みらい」の代表が次のとおり変更になりました。

「会派代表」 中嶋洋子

広報特別委員会

委員長	杉 渕 一 弘
副委員長	三 浦 倫 美
委員	蛇 川 敬
委員	佐 藤 光 子
委員	武 田 浩 人
委員	佐 藤 重 光



©1976, 2021 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO.L617300



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>